



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日



上場会社名 アトミクス株式会社 上場取引所 東
コード番号 4625 URL <https://www.atomix.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮里 勝之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括部長 (氏名) 富士田 学 (TEL) 03 (3969) 0471
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,616	3.8	△18	—	△9	—	△14	—
2023年3月期第1四半期	2,520	2.5	51	30.4	57	17.3	33	△67.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △0百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 36百万円(78.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△2.74	—
2023年3月期第1四半期	6.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	14,188	9,888	69.7
2023年3月期	14,389	9,983	69.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 9,888百万円 2023年3月期 9,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,200	△2.0	55	52.2	64	46.5	30	84.6	5.64
通期	12,000	5.3	180	15.7	200	11.5	110	34.5	20.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	7,242,000株	2023年3月期	7,242,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,924,445株	2023年3月期	1,926,245株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	5,316,055株	2023年3月期1Q	5,308,405株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類引き下げにより社会経済活動が正常化に進んでいる一方、長期化するロシア・ウクライナ問題が起因となる原材料価格やエネルギー価格を始め様々な物価上昇が続いており依然として先行きが不透明な状況が続いています。

このように厳しい環境が続いているなか、当社グループは「安全・安心・快適に寄与する製品」の開発を進め持続可能な社会の実現に貢献できるよう活動し、また、高収益体制を目指すべく顧客志向を徹底し、各事業部の深化を図るとともに、当期より当社は定年を65歳に延長し経験豊富な人材の活用等を行い体質強化に努めてきました。しかし、原材料価格の高騰が続き利益確保が厳しい状況となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高26億16百万円（前年同期25億20百万円）、営業損失18百万円（同 営業利益51百万円）、経常損失9百万円（同 経常利益57百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失14百万円（同 親会社株主に帰属する四半期純利益33百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

<塗料販売事業>

建築用塗料は、工場屋根において遮熱関連製品が伸長したこと、一部製品の価格改定効果もあり前年を上回りました。床用塗料は、当社が主力顧客としている工場ユーザーの設備投資が控えられているため前年を下回りました。

道路用塗料は、自動車の逸脱防止対策及び歩行者の安全確保の観点から区画線等の引き直しが行われたこと、サミット、国体により路面標示材を始め道路製品全体が伸長し前年を上回りました。

家庭用塗料は、新規ホームセンターへの企画提案活動を行い販路拡大が順調に進んでいること、一部製品の価格改定を行ったことで前年を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の塗料販売事業の売上高は、前年同期と比べて1億29百万円増加し、25億69百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

<施工事業>

当第1四半期連結会計期間での工事受注及び進行している工事件数が減少したため前年を下回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の施工事業の売上高は、前年同期と比べて32百万円減少し、47百万円（前年同期比40.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2億円減少し、141億88百万円となりました。これは主に、電子記録債権で1億85百万円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産で4億64百万円減少したためです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて1億6百万円減少し、43億円となりました。これは主に、電子記録債務で66百万円増加したものの、支払手形及び買掛金で1億92百万円減少したためです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて94百万円減少し、98億88百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失で14百万円、配当金の支払で95百万円減少したためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想については、2023年5月12日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,935,503	2,827,284
受取手形、売掛金及び契約資産	3,025,021	2,560,724
電子記録債権	835,156	1,020,943
商品及び製品	1,297,493	1,327,565
仕掛品	209,271	269,232
原材料及び貯蔵品	626,765	688,914
その他	39,932	57,692
貸倒引当金	△8,654	△9,662
流動資産合計	8,960,490	8,742,694
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,030,298	1,013,111
土地	2,895,299	2,895,299
その他（純額）	348,057	399,073
有形固定資産合計	4,273,655	4,307,485
無形固定資産	460,031	431,617
投資その他の資産		
その他	744,987	756,571
貸倒引当金	△49,662	△49,662
投資その他の資産合計	695,324	706,908
固定資産合計	5,429,011	5,446,012
資産合計	14,389,501	14,188,706
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,204,656	1,011,967
電子記録債務	1,743,982	1,810,364
短期借入金	160,000	160,000
未払法人税等	50,069	11,253
賞与引当金	93,733	23,745
環境対策引当金	40,020	34,350
その他	537,306	708,211
流動負債合計	3,829,768	3,759,892
固定負債		
長期借入金	15,000	-
役員退職慰労引当金	86,719	58,900
株式給付引当金	118,970	120,486
退職給付に係る負債	280,052	279,659
資産除去債務	44,026	44,144
その他	31,827	37,016
固定負債合計	576,596	540,208
負債合計	4,406,365	4,300,100

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	740,308	740,308
利益剰余金	8,998,575	8,888,958
自己株式	△999,254	△998,200
株主資本合計	9,779,629	9,671,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	190,762	205,479
退職給付に係る調整累計額	12,744	12,059
その他の包括利益累計額合計	203,506	217,539
純資産合計	9,983,136	9,888,606
負債純資産合計	14,389,501	14,188,706

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高		
商品及び製品売上高	2,440,401	2,569,428
工事売上高	80,223	47,481
売上高合計	2,520,625	2,616,910
売上原価		
商品及び製品売上原価	1,750,996	1,889,102
工事売上原価	45,533	40,775
売上原価合計	1,796,529	1,929,877
売上総利益	724,095	687,032
販売費及び一般管理費	672,289	705,155
営業利益又は営業損失(△)	51,806	△18,122
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	5,044	5,799
その他	2,487	3,647
営業外収益合計	7,534	9,449
営業外費用		
支払利息	498	307
為替差損	862	598
営業外費用合計	1,360	905
経常利益又は経常損失(△)	57,980	△9,578
特別利益		
固定資産売却益	99	49
特別利益合計	99	49
特別損失		
固定資産除却損	0	304
特別損失合計	0	304
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	58,080	△9,833
法人税、住民税及び事業税	14,943	9,430
法人税等調整額	9,485	△4,665
法人税等合計	24,428	4,764
四半期純利益又は四半期純損失(△)	33,651	△14,598
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	33,651	△14,598
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,979	14,717
退職給付に係る調整額	△201	△684
その他の包括利益合計	2,777	14,032
四半期包括利益	36,429	△565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,429	△565
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
(税金費用の計算) 連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。